

■米国：FERC、アラスカ州 Alaska LNG 輸出プロジェクト建設を認可

2020年5月21日付の情報誌によると、連邦エネルギー規制委員会（FERC）は同日、アラスカ州で計画されている Alaska LNG 輸出プロジェクトの建設、運転を認可した。本プロジェクトは「アラスカ最北部のノーススロープのガス田から 800 マイルのパイプラインの建設」と「南部の液化、輸出基地の建設」からなる。容量は 2,000 万 t/年、総工費 430 億ドルと見積もられており、他の米国の LNG 輸出プロジェクトと比較して高コストになると考えられている。プロジェクト主体のアラスカ州が運営する Alaska Gasline Development Corporation は、一般企業と協力して実施していく方法を検討中としている。